

主要科目の目標、特長

(人間学部 心理学科)

授業科目の名称	目 標	特 長
心理学情報処理基礎演習Ⅰ・Ⅱ	コンピュータの基礎知識(歴史、構造、データ表現、ネットワーク等)について学び、さらに多様な情報処理課題を実際に行うことで、研究遂行上有用な情報処理スキルを身につける事を目的とする。	授業の前半は座学、後半は実際にコンピュータを用いた演習となっている。演習は、単に一般的な情報処理を学ぶだけでなく、実施する課題を、調査用紙の作成、データ集計、グラフ化、プログラミング等にする事で、心理学における研究活動をイメージしやすいものとなっている。
心理学基礎演習	論文の読み・書きの基本を習得する。4年間の授業の構成を知り、今後の学習の過程を念頭に置いて、必要な資料の検索の仕方、図表の読み方・書き方、論文の構成とその書き方、そして論文の購読を通じて、論文(レポート)作成の作法を習得する。併せて心理学を学ぶことの意義と意味を討論を通じて深化させる。	1年生開講科目。2年生で履修する必修科目「心理学基礎実験」や、3年生で履修する各種実験科目において作成する実験レポートの書き方を学ぶ。図書館や情報処理室等の施設を利用し、他の履修者と協同しながら課題に取り組む。これらの作業を通じて、必要な情報の効率的な収集と得られた情報のわかりやすい提示の仕方を修得する。
生理心理学実験Ⅰ・Ⅱ	さまざまな生理心理学的指標に関する測定、解析の基礎的知識およびスキルを、実際の測定を通して学ぶ事を目的とする。生理心理に限定せず、実験研究を進める上で役立つ基礎知識である、実験計画の立て方や統計処理手法などについても併せて学習をすすめていく。生理心理に関する知識やスキルを身につけるだけでなく日常生活における心理学的な諸問題を実験研究に落とし込む過程から様々な問題意識を身につけ、計画・結果発表時のディスカッションと通し他者とのコミュニケーション能力を養う事を目的とする。	学生が自らの興味に基づき研究テーマを定め、研究計画を作成・実行する事を重視する。実習形式の授業であり、3～5人の小グループごとにテーマを定め実験を行い、測定したデータをまとめたレポートをグループごとに発表し、ディスカッションを行う。
心理学専門演習Ⅰ～ⅩⅢ	3年生で履修する必修選択の専門ゼミ。選択したゼミにおいてその領域の専門知識を学びながら、4年生で作成する卒論に必要なデータの統計的処理、器具や装置を適切に扱うための技術、参考文献を収集するための検索の仕方と論文の読み・書き方、実験・調査を行う際の倫理的配慮など、研究を行う際の一通りの手続きとその分野の知識を習得することを目標とする。	3年生で履修する専門ゼミ。学生は希望するゼミを選択するが、人数制限を設けてあるため2年次の基礎実験の成績によって振り分けられる。各ゼミは10名前後で構成され、専門ゼミを通して基礎的スキルを習得するだけでなく、人間関係を深め、将来展望への動機づけも併せて行う。